

平成23年度 市立三次中央病院 CS・医療安全サークル活動発表会プログラム

- ▼日時 平成24年2月18日(土) 8:45~13:00(予定)
- ▼会場 十日市コミュニティセンター(三次市十日市南1-2-18 Tel:0824-62-3662)
- ▼日程
- (予定) 8:45~9:00 開場, 受付
- 9:00~9:10 開会
- 9:10~ 活動発表(口頭発表) / CS・医療安全(20サークル)
- (10:30~10:35/休憩)
- 12:00~12:30 歯止め事例発表(3サークル), 審査
- 12:30~13:00 表彰, 総評, 閉会

《CS推進活動・医療安全サークル活動》

No	所属	サークル名	テーマ	発表内容等
1	病院企画課	TENKEN隊	今年は駐車場をTENKEN	外来駐車場の利用状況を点検。広島県の思いやり駐車場制度, 駐車場ボランティアの活用を検討した。
2	4西	brain	脳卒中地域連携バスを用いた退院指導の充実	脳卒中地域連携バスについて理解を深め, 退院指導の充実を図ることを目標とし, 取り組みを行った。
3	手術室	スマイル	安定感のある移動を提供	周手術期の移動にムーブボードを使用した取り組みを行った。
4	3東	こんにちは赤ちゃん	満足度の高い授乳ケアの提供	当院で出産された方を対象に, 入院中の授乳育児支援に対する, 満足度調査を行った。指導の問題点を明らかにし今後の課題を発表する。
5	5西	生き生き生活応援隊	二交代制導入に向けた取り組み	看護スタッフのQOL向上もあっての患者サービスの向上! と思い, 今年度は二交代制を試行してきました。その取り組みと評価を報告します。
6	5東	きれいにし隊	ベッドサイドの環境整備を行い生活環境の充実	環境整備を毎日行っているが, 不必要な物が置いてあり, ベッドサイドが乱雑な現状がある。環境整備を改めて意識し, 看護師の意識向上を図り, 患者の生活環境が充実するために取り組んだ。
7	2階ICU	ひまわり	救急患者の家族への対応	救急患者の家族への配慮が意識され, 実践されるよう取り組みを行った。
8	4東	OPバッグ作成委員	手術出しをスムーズに行う	専用バッグを使用することで, 簡単に術前の準備ができ患者の術前に対する不安の軽

				減ができるかどうかを目標とした。
9	栄養科	食事のおきて♪	選択メニューの充実！～選択率UPを目指して～	週2回、選択メニューを実施しているが、選択率が伸び悩んでいる。そこで、より多くの患者様に選んでもらえるよう選択メニューの見直しを行った。
10	透析室	腎-JIN-	転落転倒を防ごう～スタッフ間の意識、行動の統一をはかって～	透析室にて転倒転落が起きた事例から、再発防止の取り組みを行った。スタッフ全員が患者様の転倒転落の危険度を認識し、統一した対応が実施できることを目標とした。
11	薬剤科	ファーマシューティカル研究会	鑑査方法の見直しと標準化	薬剤科での調剤ミスが、そのまま病棟でスルーされて、患者様に迷惑をかけるケースがある。 鑑査方法・手順を見直し、また、標準化を進めることで調剤過誤を減らしていく。
12	医療安全	ないふく	配薬時エラー減少を目指して	配薬時のエラーは相変わらず多い。 エラーの内容を探り、ポイントを絞り配薬時エラー事例の削減に取り組む。
13	3西	小さなことから	きれいな廊下	廊下に必要最低限のものしか置かないように取り組みを行った。
14	医療安全	てんとう	転倒防止グッズ使用患者の転倒発生件数を減らす！	転倒防止グッズを使用しても転倒が起きている現状があるため、転倒転落アセスメントシートの改訂と転倒転落防止グッズ選択チャートの作成を行った。
15	医事課	医療文書作成委員会	絶対分かる！ 「医療文書作成マニュアル」	医療文書には多くの種類がある。早く正確な内容の書類を作成することが患者トラブルの減少にもつながるため、分かりやすいマニュアルの作成を行った。
16	医療安全	Team Your Tube	経鼻チューブ自己抜去防止を目指して	経鼻チューブ挿入患者の観察の徹底と、抑制の必要な患者への確実な抑制を行うための意識付けへの取り組み
17	医療安全	チーム注者	注射間違いのインシデントを減らす	注射間違いを減らすための取り組み。
18	外来 検査科	進め心の輪 PartⅢ	上部消化管内視鏡検査における満足度調査	当院の上部消化管内視鏡検査施行前、施行後の患者様へのアンケート調査を行うことにより、更なる快適な検査を受けていただくことを目標とした。

19	放射線科	患者サービス向上班	マンモグラフィ受診者の満足度の向上	マンモグラフィ受診の方に、検査方法・検査担当技師の接遇についてアンケートを実施し、業務改善の取り組みを行った。
20	リハビリ科	楽々安心移乗隊	安全な移乗動作介助の獲得に向けて	病棟内での移乗動作介助の現状を調査。看護師が困っている具体例に対して研修会を行って、移乗動作への不安軽減を目的に活動を行った。

*「所属」欄の「医療安全」は医療安全サークル活動、その他はCSサークル推進活動

《 歯止め事例発表 》 ※以下の活動報告書はHP掲載なし

No	所属	サークル名	テーマ	発表内容等
1	病院企画課	TENKEN 隊が行く2	掲示物の適正運用の定着&その他	院内の提示物について、期限を明示し、また整理整頓するという活動の定着度合いは？また、今年の職員の利便性の向上活動は？
2	放射線科	患者サービス向上班	放射線治療患者の治療期間や治療回数の認識度向上における継続的取り組み	昨年度の取り組みとして、放射線治療患者に対して「放射線治療記録手帳」を作成・使用した。 今年度も継続して取り組んでいる状況を報告する。
3	多職種	ニーチャム	その後の使用率	2009～2010年、せん妄アセスメントツール「ニーチャム」の使用率を上げるための活動を行った。活動終了後の「ニーチャム」使用率について報告する。